

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2001-514198(P2001-514198A)

【公表日】平成13年9月11日(2001.9.11)

【出願番号】特願2000-508333(P2000-508333)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 7/13

【F I】

A 6 1 K 7/13

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月26日(2005.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

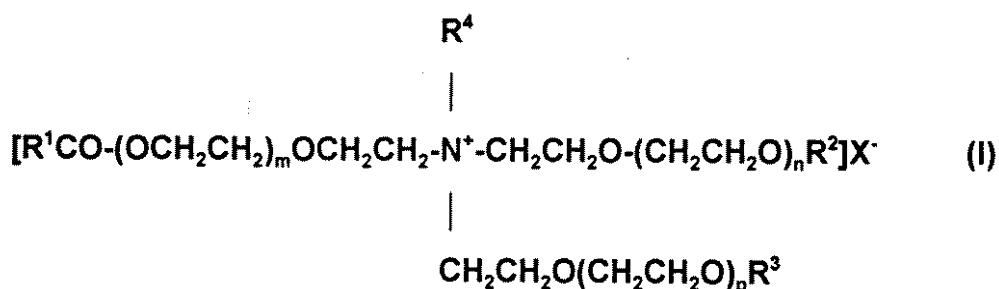
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ケラチン繊維染色用の製剤を製造するための染毛料用の乳化剤としてのエステルクオートの使用。

【請求項2】式(I):

【化1】

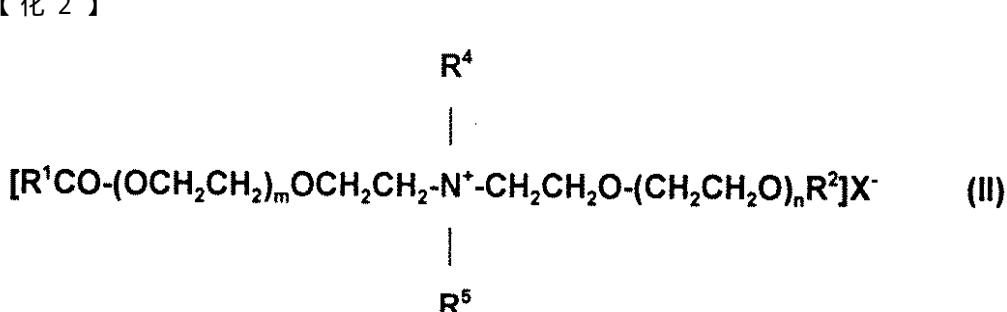


[式中、 $\mathbf{R}^1\text{CO}$ は炭素数6~22のアシル基であり、 \mathbf{R}^2 および \mathbf{R}^3 はそれぞれ、水素または $\mathbf{R}^1\text{CO}$ と同意義であり、 \mathbf{R}^4 は炭素数1~4のアルキル基または $(\text{CH}_2\text{CH}_2\text{O})_q\text{H}$ 基であり、 m 、 n および p は、いずれも0であるか、または1~12の数であり、 q は1~12の数であり、 \mathbf{X} はハライド、アルキルスルフェートまたはアルキルホスフェートである。]

で示されるエステルクオートを使用する請求項1記載の使用。

【請求項3】式(II):

【化2】

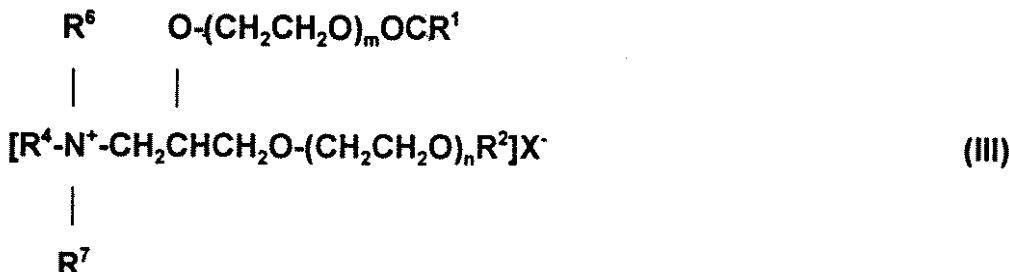


[式中、R¹COは炭素数6～22のアシル基であり、R²は水素またはR¹COと同意義であり、R⁴およびR⁵はそれぞれ、炭素数1～4のアルキル基であり、mおよびnは、いずれも0であるか、または1～12の数であり、Xはハライド、アルキルスルフェートまたはアルキルホスフェートである。]

で示されるエステルクオートを使用する請求項1記載の使用。

【請求項4】 式(III):

【化3】



[式中、R¹COは炭素数6～22のアシル基であり、R²は水素またはR¹COと同意義であり、R⁴、R⁶およびR⁷はそれぞれ、炭素数1～4のアルキル基であり、mおよびnは、いずれも0であるか、または1～12の数であり、Xはハライド、アルキルスルフェートまたはアルキルホスフェートである。]

で示されるエステルクオートを使用する請求項1記載の使用。

【請求項5】 エステルクオートを製剤に対して0.1～5重量%の量で使用する請求項1～4のいずれかに記載の使用。

【請求項6】 直接染毛料または酸化染毛料を使用する請求項1～5のいずれかに記載の使用。

【請求項7】 染毛料を製剤に対して0.001～1重量%の量で使用する請求項1～6のいずれかに記載の使用。

【請求項8】 炭素数6～18の脂肪アルコールから誘導するゲルベアルコール、直鎖C₆₋₂₂脂肪酸と直鎖C₆₋₂₂脂肪アルコールとのエステル、分枝状C₆₋₁₃カルボン酸と直鎖C₆₋₂₂脂肪アルコールとのエステル、直鎖C₆₋₂₂脂肪酸と分枝状アルコールとのエステル、直鎖および/または分枝状脂肪酸と多価アルコールおよび/またはゲルベアルコールとのエステル、C₆₋₁₀脂肪酸トリグリセリド、C₆₋₁₈脂肪酸の液体モノ-/ジ-/トリグリセリド混合物、C₆₋₂₂脂肪アルコールおよび/またはゲルベアルコールと芳香族カルボン酸とのエステル、植物油、分枝状第一級アルコール、置換シクロヘキサン、直鎖C₆₋₂₂脂肪アルコールカーボネート、ゲルベカーボネート、安息香酸と直鎖および/または分枝状C₆₋₂₂アルコールとのエステル、ジアルキルエーテル、エポキシ化脂肪酸エステルのポリオールによる開環生成物、シリコーン油、および/または脂肪族もしくはナフテン族炭化水素から成る群から選択する油をも使用する請求項1～7のいずれかに記載の使用。

【請求項9】 油を、製剤に対して10～70重量%の量で使用する請求項7記載の使用。